

### 第3章 まちづくりの基本的視点

「まちづくりの基本的視点」は、市民アンケートの集計結果から読みとれる勝山市に対する市民の思いや地区別座談会において市民から提案された意見を踏まえ、快適で文化的な市民生活を送るために勝山市が実現すべき政策課題および取り組むべき方向性を6つの視点から整理したものです。

#### 1. 子育て環境モデル都市の実現、人間性豊かな教育環境の実現

子育て支援策と学校教育、社会教育に一貫したつながりを持たせ、豊かな自然と歴史、文化に育まれた環境を生かし、誰もが夢と希望を持って子どもを産み育むことができるまちづくりを進めます。

また、望ましい教育環境の実現に向けた小中学校再編等への取り組みを進め、次世代を担う子どもたちが、思いやりの心、正義感、倫理観、ふるさとを愛する心や、たくましいチャレンジ精神などを育む教育環境の整備を進めます。

#### 2. 健康長寿のまち勝山の実現

超高齢社会を迎え、これまで進めてきた高齢者福祉の取り組みをさらに発展させながら、日常生活や介護など、さまざまな面から高齢者の自立支援と介護体制の充実を図るとともに、高齢者が多様な地域活動の担い手として活躍できる仕組みづくりを進め、いきいきと安心して暮らせる長寿社会の実現を目指します。

また、乳幼児期から高齢期までのすべての年齢層にわたり、市民が健康でいきいきと暮らせる社会を実現するため、行政の施策をきっかけとして市民の健康増進に対する意識を高め、市民一人ひとりの積極的な取り組みを支援していきます。

こうした取り組みを通じて、市民の健康づくりに対する自律的な意識の啓発を図るとともに地域全体で健康長寿を支える環境づくりを進めます。

#### 3. 多彩な文化芸術活動の振興、スポーツの振興

嗜好やライフスタイルの変化、高齢化の進展などにより多様化する市民のニーズに応えることができる文化芸術活動の振興、スポーツの振興を図ります。

地域に伝わる豊富な伝統文化を受け継ぎ、これを次世代に継承するとともに、音楽や美術など市民の多彩な文化芸術活動への取り組みを積極的に支援し、文化の創造と市民一人ひとりが心の豊かさを実感できるまちづくりを進めます。

また、スポーツ振興と市民の健康づくりを一体的にとらえていきます。さらに幅広い世代を対象としたスポーツや健康づくりの場の整備、充実および長年にわたる市民からの要望を実現するため、平成30年福井国体開催に向けて新体育館の建設を目指します。

#### 4. 働く場の確保、まちづくり観光の推進

ふるさと回帰を促し、持続可能なまちを実現するためには、市民の働く場の確保が欠かせません。そのため、起業、異業種転換など既存産業の活性化および新規企業の誘致を図るとともに、就業地の広域化に対応した交通網の整備を進めます。

また、エコミュージアムによって発掘された遺産やまちづくりの成果である地域の人材を活用したまちづくり観光<sup>12</sup>を推進します。

そのために、着地型観光<sup>13</sup>の実現に向けた観光資源、観光施設の活用および相互の連携、観光周遊に利便性の高いバス路線の充実などを図るとともに、地域経済活動の活性化に着目した観光振興を図ります。

#### 5. 循環型農業<sup>14</sup>の推進、林業および内水面漁業<sup>15</sup>の振興

人が生きていく上で不可欠な「食」と清らかな「水」を供給する基盤産業として、農林水産業の後継者育成および新規就業者の参画促進を進め、体験型農業の促進、農林水産物の特産品開発・販売とともに、農地・農業用施設、林道・作業道、水辺環境の親水化といった生産基盤の修繕、整備を進め、次世代に引き継ぐ循環型としての仕組みづくりを目指します。

また、近年増加している農林水産物等に対する鳥獣による被害を無くし、安全に安心して生産活動ができるよう市民と一体となった取り組みを強力に進めます。

#### 6. 雪などの災害に強いまちづくりの推進、交通体系の整備

少子高齢化社会に対応した安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、行政、市民および事業者が一体となって克雪を図ります。

基礎的コミュニティのあり方を見直す中で、年々の克雪に向けた地域住民による共助の体制や普段からの高齢者見守り活動等の体制を整えることで、万が一の災害時に向けた自主的な地域防災組織の強化を図ります。

雪対策については、行政による除排雪体制のさらなる整備、充実を図るとともに、地域住民による共助の体制や家族による自助に対する支援をしていきます。

さらに、雪に強いまちづくりを進めていくとともに、雪に親しみ、雪を利活用した取

---

<sup>12</sup> ※まちづくり観光

まちづくりを進めることによって観光対象をつくること。

<sup>13</sup> ※着地型観光

地域の人々が、地域資源を活かした体験・交流・学習型プログラムを販売、運営することで、地域の文化を広く発信し、自らの生活の質を高める新しい観光の形態。

<sup>14</sup> ※循環型農業

例えば、草木などを堆肥化し、それを農地に投入するといった物質の循環をとらえるばかりではなく、農業を営む人や生産現場である農地、さらには経営をも含め、地域において将来へ適正に引き継ぐことが総体的に可能な農業を指す（勝山市独自の定義）。

<sup>15</sup> ※内水面漁業

河川や湖沼などで行う漁業のことで、これに対し海で行う漁業のことを海面漁業という。

## 基本構想【第3章】

組みについて研究、検討を進めます。

また、誰もが利用しやすい電車、きめ細かな生活バス路線を目指し、運行体系をさらに充実させるとともに、新たな地域交通システムの導入を検討します。

さらに、えちぜん鉄道の機能強化、基幹道路や生活道路の整備、改良を進め、観光振興、経済・流通活動の拡大、通勤、通学の利便性向上を図ります。